ようこそ武岡中学校へ

小学6年生を対象に新入生説明会

本部役員「新入生が安心して入学できるように」

体育館での説明会の様子

1月21日（金）に武岡台小学校と武岡小学校の6年生を対象とした新入生説明会が行われました。校長先生のお話の後に、私たち生徒会本部役員3人が、中学校生活について一日の流れや学校行事、生徒会活動などを中心に説明しました。

六年生の前に立つと、二年前に私が小学生として説明会に参加したとき、立派にあいさつをする生徒会役員の先輩方に憧れを抱き、中学校生活が楽しみになったことが思い出されました。そのときの自分と同じような気持ちをもってくれるように説明することを心掛けました。緊張しましたが、6年生が私たちの説明を真剣に聞いてくれて、うれしく思いました。

説明会の後に6年生にインタビューをして、説明会に参加した感想を聞くことができました。部活動や、新しい友達と出会えることが楽しみだと言う声や、中学校では定期テストがあることが少し不安だと言う声が聞かれました。また、体育大会や文化祭、クラスマッチといった学校行事を楽しみにしている児童もいました。残りの小学校生活をどのように過ごしたいかを尋ねると、「違う中学校に行く友達もいるので友達との時間を大切にしたい」や「中学校ではスポーツを頑張りたいので、体力をつけていきたい」と話してくれました。今回の説明会で中学校とはどんなところかを知って、安心して入学してきてくれたらと思います。（生徒会副会長）

常任委員会意見交換 判断力が求められる規則に

2月10日（金）に中生連第三回常任委員会がオンラインで行われました。はじめに、前回の常任委員会で実施したポスターと標語の審査結果等の報告がありました。その後、5つのグループに分かれて、各学校の服装規定について、意見交換を行いました。この議題について話し合った理由は、ほとんどの学校で服装規定について一部変更があったためです。例えば、衣替えの期間がなくなり、体調や気候に合わせて自分で服装を考えるようになった点や、頭髪や防寒着の着用の規則がこれまでと少し変更になった点などです。これらは、社会のルールとして決められているものではなく、場に応じた身なりやマナーについて、自分で判断しなければならないものばかりです。これまで以上に自分で考えて行動することが求められるようになったのではないかと思いました。

また、私は今回の常任委員会に参加することで、一歩踏み出すことの大切さを学びました。初対面の人たちの中で意見交換をすることはとても緊張しましたが、勇気を出して記録係を自ら引き受け、自分の考えを発表することができました。勇気を出して物事に挑戦すると、新しい学びがあり、自分を成長させることができると改めて実感しました。この貴重な体験ができたことに感謝し，そのことを今後の生徒会活動に生かしていきたいと思いました。（副会長）

踏み出す力
行動は気づきに変わる

発行者
武岡中学校生徒会本部
ブログはこちら↓

ALTのクレア先生と異文化の交流を

クレア先生はカナダのトロント出身で、明るく、とても気さくな先生です。大学卒業後、カナダで大人の移民を対象とした学校や、関西外国語大学のオンライン授業で二年間英語を教えていたそうです。

カナダは、国民の半数以上が移民で、毎年5万人以上が世界各地から移住してくるそうです。日本で生活する上で、大変なことは言葉が通じないことだと教えてくださいましたが、家族とはフランス語で話し、ラテン語やギリシャ語等は高校で学び、韓国語を独学で習得するなどして5か国語を話すそうです。日本の文化に興味があり、日本で働ける仕事を探している際に見つけたのがALTの仕事だったそうです。今年は11人の新しいALTが来日し、日本各地の学校に配属されたと教えてくださいました。桜島のことをご存知だった先生は、鹿児島で働けることをとても楽しみにされていたそうで、これから温泉や茶会、弓道等の日本の文化を経験してみたいと笑顔で話してくださいました。

カナダの魅力についても教えていただき、ホエールウオッチングやナイアガラの滝など、自然が豊かな国で、冬の寒い夜には北の地域で頻繁にオーロラを見ることができることを知りました。

今回クレア先生にインタビューをしたことで、英語の勉強になるだけでなく、異文化について理解を深めることができました。今後、生徒会でクレア先生との交流を目的としたイベントなどを企画し、武岡中学校でたくさんの思い出を作っていただけるようにしたいと思いました。（学習部部長）

たけおかSDGs

小さな一歩が大きな力「残食を減らそう」

1月14日、17日に給食センターの残食調査が実施されました。二回の調査で、最も残食が少なかったクラスは3年2組と1年3組でした。

日本では、まだ食べられるのに捨てられる食品の量が一年間で約570万トンにのぼり、これは東京ドーム五つ分に相当します。一日に換算すると一人あたり、おにぎり一個を捨てている計算になります。

給食も、一人一人が一口ずつ、食べる量を増やす努力をしたり、食べる時間を十分に確保するために、給食当番だけでなく、全員が給食準備を早く済ませるように努力したりすることで残食の量は少なくなると思います。残食を減らして、みんなで持続可能な社会を作りましょう。（保体部部長）

緑の募金 3月11日まで

イラスト　整美部副部長

書き損じはがき贈呈
（ハートピアかごしま）

先月実施した書き損じはがき回収キャンペーンでは、百七十五枚のはがきが集まりました。集まったはがきをハートピアかごしま内の鹿児島県視覚障碍者団体連合会に届けると、大変喜んでくださいました。ご協力ありがとうございました。

Take Action

さて、今月はベルマーク運動を実施し、各学年からたくさんの協力を得ることができました。ベルマークは、被災地の学校を支援するために寄贈します。今回のベルマーク運動は、たとえ一人1点でも、全校生徒が協力できる活動だと思います。二月以降は、常時活動としてベルマークの回収を続ける予定です。無理なく続け、助け合いの輪を広げましょう。（生徒会書記）